

科目名	建設材料学 Construction Materials			担当教員	水越睦視		
学年	3年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分野	専門	授業形式	講義	科目番号	13134013	単位区分	履修単位
学習目標	代表的な建設材料であるコンクリートおよび鋼材の種類や性質を理解する。コンクリートでは構成材料であるセメントや骨材等の性質、配合設計方法、力学特性、耐久性を理解する。鋼材については、製造方法と表記方法、力学特性を理解する。						
進め方	土木構造物を造る上で材料の基本特性の理解は必要不可欠であることを十分に認識できるように、現場での経験談を交えながら解説し、授業を進める。また、本科目は、実験実習の進行と合わせながら授業を進めていくので、知識と実習を結びつけることができれば理解が深まる。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. 建設材料(4) (1) ガイダンス (2) 建設材料の種類と性質 2. コンクリートに使用する材料(12) (1) セメント, 骨材 (2) 混和材料 [前期中間試験] (2)			主な建設材料の種類と性質を説明できる。コンクリートに使用する材料の性質や使用方法などについて説明できる。  B-2: 土木工学の基礎知識を身につける			
	3. フレッシュコンクリートおよび配合(12) (1) フレッシュコンクリートの性質 (2) 配合設計 前期末試験			まだ固まらないコンクリートの性質や評価方法が説明できる。コンクリートの配合計算ができる。  B-2: 土木工学の基礎知識を身につける			
	4. 硬化コンクリートの性質(8) (1) 力学的性質 (2) 耐久性 5. 特殊コンクリート(8) (1) 暑中コンクリート (2) 寒中コンクリート (3) マスコンクリート [後期中間試験] (2)			硬化コンクリートの特性について説明ができる。特別な配慮を要するコンクリートの性質・特徴と施工上の留意点について説明ができる。  B-2: 土木工学の基礎知識を身につける C-1, C-2: 課題解決の実行力を身につける			
	7. レディーミクストコンクリート(6) (1) 種類と呼び方 (2) 品質管理 8. 鉄鋼(6) (1) 種類と製造方法 (2) 性質と呼び方 後期末試験 試験返却(1)			レディーミクストコンクリートの種類と品質管理方法について説明できる。鋼材の種類、特性および使用方法などについて説明ができる。  B-2: 土木工学の基礎知識を身につける			
	評価方法						
	評価の内訳は、定期試験を80%、演習課題への取り組みを20%として評価する。 評価60%以上を合格とする						
	履修要件						
特になし							
関連科目							
基礎力学Ⅰ(2年)→建設材料学(3年), 建設環境工学実験実習Ⅰ(3年) →建設構造設計学(4年), 建設工法学(4年)							
教材							
教科書: 西林新蔵 編著, 建設構造材料, 朝倉書店							
備考							
コンクリートは実際に見て触れてみて理解が深まることが多いので、並行して学習する実験実習は、本科目と深く関係するので、両科目を関連づけて学習いくことが大切です。							